

科目名	介護と住環境					単位	2.0
担当教員	朝日 敏行						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	1314

●授業のテーマ

住環境を利用する人々（基本的にはすべての人）の中で特に心身の機能が低下している人（主に高齢者、障害者及び妊婦・怪我などの一時的・短期的な人々にとって無理なく使えて、安全で安心できる環境を構築する上での基礎的な知識を獲得することを狙いとします。

●到達目標

講義終了後の習得レベルとしては福祉住環境コーディネーター2級（平均合格率50%）と1級（平均合格率2%以下）の中間より1級に近いところまで到達してもらいます。特に、知識に加え気づく力、想像する力、伝える力の圧倒的な向上を期待しています。

●学習内容(授業概要)

年齢、性別、身体機能の程度に係らず住みたい場所で住み続けられるという条件は、住宅や街、都市が本来的に備えるべき要素です。しかしながら、現実はそのほどうまくは行っていません。これは、空間を創る側と使う側のギャップの問題です。そのギャップを埋めるために住宅や街、都市の利用者として必要な知識を具体事例を基に解説していきます。

●学習内容(授業計画)

- 1, バリアフリーとユニバーサルデザインの概念的整理
- 2, 高齢者、障害者の現状 BW シート課題発見シート
- 3, 『介護』と『その対象者』別の対応方法を考える（総論） ※次回探検課題
- 4, 介護対象者の身体機能の整理（ICF分類）
- 5, 身体機能別住空間のあり方（主に住宅を対象として－1） 想像力確認（IT）
- 6, 身体機能別住空間のあり方（主に住宅を対象として－2） レポート課題発表
- 7, 身体機能別住空間のあり方（主に住宅を対象として－3） MindMap
- 8, 身体機能別住空間のあり方（住宅以外の施設を対象として－1） プランニング
- 9, 『介護』と『住環境』を演習を通して理解する－1
- 10, 『介護』と『住環境』を演習を通して理解する－2
- 11, 身体機能別住空間のあり方（住宅以外の施設を対象として－2）
福祉用具・機器と住環境
- 12, 介護対象者の分類のための各種法制度の概略
緊急時・災害時を想定した住環境のあり方
- 13, 調査発表プレゼン－1
- 14, 調査発表プレゼン－2
- 15, まとめ

●準備学習・事後学習の内容

街中のバリアフリーチェック

●成績評価方法・基準

レポート60%、出席等40%

（原則的にレポートでの評価となります。ただし、講義中での独創的なアイディアは評価加算とします。）

●テキスト（必携）

講義ごとに資料を配布します。どうしてもという場合は文献を紹介します。

●参考文献／その他
その都度紹介する。

●履修上の注意
楽しく学ぶ